



KODAK MAGNUS
VLF プレートセッター

超大判サイズ対応プレートセッターの新機軸



高品質な超大判プレートを全自動で最速イメージング

KODAK SQUARESPOT イメージングテクノロジーを搭載したKODAK MAGNUS VLF プレートセッターは、超大判 (VLF・XLF) 市場でクラス最速の性能を誇る全自動プレートセッターです。最大プレートサイズは最新モデルの Q4800 で 1,600×2,900mm、Q3600 で 1,600×2,083mm、Q2400 で 1,422×1,804mm と 4 倍判から 8 倍判サイズのプレート生産に対応しています。また、2 版同時出力が可能なデュアルプレートローディングオプションも用意し、生産性の飛躍的な向上が実現できます。



**KODAK
SQUARESPOT**
IMAGING
TECHNOLOGY

柔軟性・生産性をさらに高める自動化オプション

幅広いビジネスニーズを満たす豊富な自動化オプションを用意し、プリプレスの効率と生産性を大幅に高めることが可能です。



コンティニューアスロード (CL) モデル

手作業でプレートをセットするセミオートモデル。露光中に次版を待機位置にセットでき、露光が終わると自動的にロードし、露光済みのプレートはプロセッサに自動搬送されます。また最大 10 個のパンチヘッドが搭載でき、多種多様な印刷機にプレートが供給できます。

右側アクセスが標準で、左側アクセス (オプション) も選択可能。



マルチカセットユニット (MCU) モデル

4 つのカセットに合計 300 枚のプレートが収納可能な完全自動モデル。各カセットには最大 75 枚 (厚み 0.3mm・合紙含む) のプレートがセットできるため、4 種類の異なるサイズのプレートを完全自動で運用できます。さらに露光中でも他のカセットに版を補充できるので、長時間の連続運転が可能です。

右側アクセスが標準で、左側アクセス (オプション) も選択可能。

マニュアルバイパス機能

SCU、MCU、MPL のフルオートモデルにはマニュアルバイパス機能を搭載。自動運転中でも異なるサイズのプレートを手動でセットして出力できるため、割り込みや急ぎの仕事にも柔軟に対応できます。

オートマチックパレットローダー (APL)

大量のプレートをパレット単位で素早く簡単にセットできる完全自動化モデル。プレートの補充回数を削減でき、オペレータの手間と労力を大幅に軽減します。各パレットには最大 600 枚、6 つのパレットユニットを装備したモデルでは最大 3,600 枚 (厚み 0.3mm・合紙含む) のプレートが収納でき、長時間の連続運転が可能になります。

右側アクセスが標準で、左側アクセス (オプション) も選択可能。



セグメント1 (最大2パレット)



セグメント2 (最大4パレット)



セグメント3 (最大6パレット)

高精度なパンチシステムが自動化を強化

MAGNUS VLFには3点レジストレーション方式による高精度なパンチシステムが搭載可能。これにより、見当不良などのエラーを防止してコスト削減に貢献します。異なる装置間やプレート間、温度変化による変動なども自動的に補正し、高精度・高品質のイメージングを実現しています。また最大10個のパンチヘッドが搭載でき、多種多様な印刷機にあわせて最適なプレート出力が可能です。

正確で安定したイメージング

定評あるSQUARESPOTイメージングテクノロジーが、温度変化によるプレートの膨張・収縮を自動的に補正し、プレート間、装置間での正確かつ一貫したイメージングを実現します。またSQUARESPOTテクノロジーによるKODAK STACCATOスクリーニングは、モアレのないイメージングを忠実に再現し、印刷工程全体で優れた色調と

色の一貫性が得られます。さらに、オートフォーカス機能は、プレート上のゴミによる凹凸に対して、フォーカスを自動的に補正し、ホワイトスポットなどの露光不良を防止します。

リモートでの出力・監視が可能

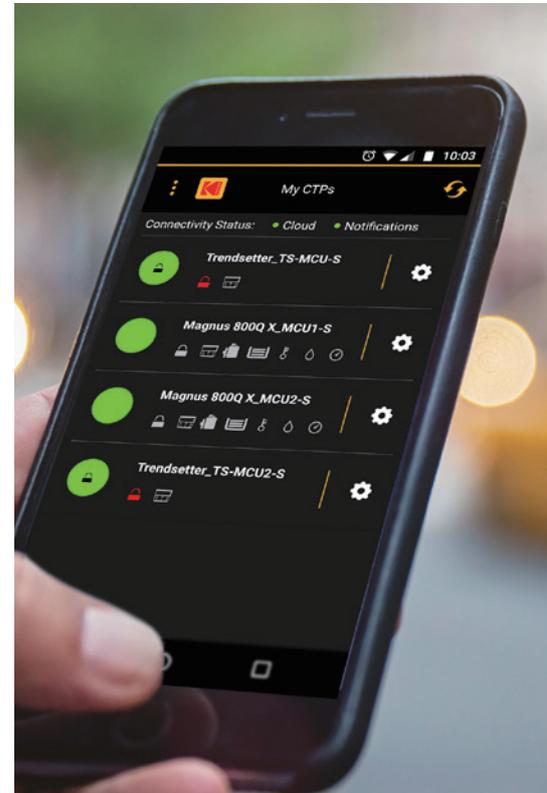
オプションのKODAK Mobile CTP Control Appを使用すれば、スマートフォンやタブレット端末(Android・iOS対応)から、MAGNUS VLFをリモートで監視・制御できます。刷版室の外や外出先からでも、CTPの稼働状況がリアルタイムで把握でき、アラートもすぐに察知できるため、CTPの稼働時間を最大化することが可能です。

超大判サイズ(XLF)対応

MAGNUS Q4800新登場!

MAGNUS VLFシリーズの最新モデルであるKODAK MAGNUS Q4800は超大判サイズのプレート出力分野で、市場をリード

する生産能力(フルサイズで毎時32版、ハーフサイズ・デュアル出力時に最大50版)を提供します。最大プレートサイズは1,600×2,900mm。デュアルプレートイメージングに対応し、市場で唯一、1,650mm幅のプレートを2版同時に出力できる画期的なプレートセッターです。またカスタム設定可能なパレット自動化オプションを装備すれば、8種類のサイズの異なるプレートを最大4,800版インライン処理することができます。さらに安定性、正確性、信頼性を備えたSQUARESPOTイメージングテクノロジーを搭載し、効率的な刷版作成と極めて高いレベルの印刷品質を実現します。



KODAK MAGNUS VLFプレートセッター

一般仕様		
テクノロジー	KODAK SQUARESPOT イメージングテクノロジー、830nm 赤外線レーザー、外面ドラム方式	
ロード/アンロードシステム	<ul style="list-style-type: none"> 最大 10 個のカスタムパンチを搭載可能 各パンチの運用は KODAK ワークフローシステムの定義にて自動選択 出力されるプレートの先頭側にパンチ加工 	
パフォーマンス仕様	Q2400	Q3600
生産性 ^{*1, 2} (2,400dpi) プレートサイズ 800×1,030 mm	F スピード : 毎時 20.5 版 X スピード : 毎時 31.3 版 W スピード : 毎時 48.0 版 (CL/MCU)、毎時 52.6 版 (APL)	
生産性 ^{*1, 2} (2,400dpi) プレートサイズ 1,422×1,804 mm	F スピード : 毎時 13.8 版 X スピード : 毎時 18.2 版 W スピード : 毎時 30.1 版	
生産性 ^{*1, 2} (2,400dpi) プレートサイズ 1,600×2,083 mm		F スピード : 毎時 12.3 版 X スピード : 毎時 16.4 版 W スピード : 毎時 27.6 版
再現性 (繰り返し精度) ^{*3}	同一版への 2 重露光で ±15 ミクロン	
出力精度 ^{*3}	イメージサイズと形状で ±35 ミクロン	
見当精度 ^{*3}	露光イメージとプレートエッジ間で ±25 ミクロン	
ワークフロー製品との接続	TIFF ダウンローダーソフトウェアを搭載した KODAK プリントコンソールを標準で付属 KODAK PRINERGY ワークフローシステム及びほとんどのサードパーティ製ワークフローシステムとの接続が可能 オプション : <ul style="list-style-type: none"> JDF / JMF コネクションオプションにより、KODAK プリントコンソールからジョブ及び CTP の稼働状況を提供可能 KODAK Mobile CTP Control App で、CTP 出力状況の遠隔監視及び再出力操作が可能 	
イメージング仕様	Q2400	Q3600
解像度	標準 : 2,400 / 1,200 dpi オプション : 2,540 / 1,270 dpi (W スピードは除く)	
スクリーン線数	AM : 最大 450 lpi (標準) FM : 25 / 20 ミクロンの KODAK STACCATO スクリーニング (オプション)	
最大プレートサイズ ^{*4} (ドラム円周方向 × 軸方向)	1,422×1,804 mm	1,600×2,083 mm
最小プレートサイズ ^{*4} (ドラム円周方向 × 軸方向)	CL, MCU : 483×394 mm APL : 483×483 mm	CL, MCU : 483×394 mm APL : 483×483 mm
最大イメージエリア ^{*4} (ドラム円周方向 × 軸方向)	1,408×1,804 mm	1,586×2,083 mm
外形寸法 / 重量		
外形寸法(高さ × 幅 × 奥行)	MAGNUS VLF : 1,550×4,055×2,590 mm MAGNUS VLF MCU : 1,550×7,116×2,850 mm MAGNUS VLF APL (セグメント 1/2/3) : 1,550×8,191 / 10,813 / 13,435×3,904 mm ※ 奥行がわずか 3,295mm のコンパクトな APL モデル (最大 1,296×2,083 mm のプレートサイズのみをサポート) も用意。	
重量	MAGNUS VLF : 2,135 kg MAGNUS VLF MCU : 4,064 kg MAGNUS VLF APL (セグメント 1/2/3) : 4,270 kg / 4,970 kg / 5,670 kg	

TRENDSETTERはクラス1のレーザー製品で、欧州のEN60825-1および米国の連邦規則21 CFR 1040.10-CDRHIに完全に準拠しています。
 ※1 イメージング時間は、メディアの感度とスクリーニングの種類によって異なります。上記の表はKODAK TRILLIAN SPプレートの生産性を示しています。
 ※2 コダックワークフローでテスト済み。
 ※3 仕様は、全環境温度範囲にわたる最大プレートサイズでの性能に関するものです。
 ※4 標準プレートゲージは、0.2~0.4 mm (0.008~0.016インチ) を使用しています。

©2021 Kodak. Kodak, Magnus, Prinergy, Sonora, SQUAREspot, Staccato および Kodak のロゴは、Kodak の商標です。
[KODAK.COM/GO/CTP](https://kodak.com/go/ctp)



コダック ジャパン

<https://kodak.co.jp>

〒140-0002 東京都品川区東品川4-10-13 TEL.03-6837-7285(営業代表)
 大阪:050-3819-1266 名古屋:050-3819-1265 福岡:050-3819-1270
 仙台:050-3819-1255 札幌:050-3819-1250